

### PTA講演会について

1月26日(金)、本川小学校において、PTA主催で、少年補導協働員の協力により「子どもを取り巻く環境について～家庭・学校・地域でできること」と題して、講演会が開催されました。この講演会は昨年に引き続き2回目となります。

今回は3名の講師をお迎えし、少年サポートセンターからは、サポートセンターの活動について、教育委員会放課後対策課からは、児童館・放課後対策クラブの現状と取り組みについて、国泰寺中学の教頭先生からは、子育ての実体験を交えながら、中学校の様子や中学校入学までに身につけておくべきことなどを講演していただきました。

また、会場には薬物標本を展示するとともに、参加者に『薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」』(厚生労働省薬物乱用防止読本)を配布し、親子での学習を呼びかけました。

参加者からは、どの講演も子ども達と身近に接している方々のお話で、興味を持って聞くことができたとの感想が寄せられました。



### 本川おもてなし隊 ～第20回広島ユネスコ奨励賞受賞～



本川おもてなし隊は、昨年、海外からの10団体に対し、お茶や習字などの日本文化の体験や本川小学校平和資料館のガイドなど市民レベルのおもてなし活動を行ってきました。

平成16年からの活動が認められ、1月27日(土)、第20回広島ユネスコ活動奨励賞を受賞しました。第2回の本川小学校、第16回の本川地区女性連合会、今回の受賞で、本川地区は3度目となります。

第2回と16回に同じく受賞した「ゆうあいアカデミー」とは、今も連携プレーで広島を発信し続けています。

本川おもてなし隊では、今年、新たに本川地区の被爆体験集を編纂し、ヒロシマの被爆実相や平和に対する思いを世界に伝えて行く計画です。

### 社会福祉協議会からのお知らせ

#### 高齢者地域支え合い事業

コミュニティ意識の希薄化などにより見守り活動を行う担い手の確保が次第に難しくなっています。

このため、社会福祉協議会、町内会、民生委員などと地域包括支援センターが連携し、地域で高齢者の方々などを見守り、共に支え合うための仕組みづくりが始まっています。

本川地区社会福祉協議会では、昨年11月から、住み慣れたまちで安心して暮らすことができるよう、高齢者地域支え合い事業(高齢者の方々を地域で支え合う仕組みづくり)に取り組むこととなりました。

現在、作業部会を設けて検討を行っております。詳細につきましては、内容が決まり次第お知らせいたしますので、今しばらくお待ちください。



「平成30年度本川地区社会福祉協議会総会」は、5月23日(水)午後7時から、本川広瀬集会所で行います。

# 本川社協だより

発行 本川地区社会福祉協議会  
責任者 中田道夫  
編集 広報委員会  
印刷 ㈱インパルスコーポレーション  
発効 平成30年3月

地域の皆様方には、本川地区社会福祉協議会の活動について、日頃からご理解・ご協力いただきありがとうございます。  
当協議会は、本川地区が安全で住みよいまちになるよう、町内会・各種団体の皆様と一緒に、一生懸命取り組んでおります。  
引き続き、当協議会の活動について、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。  
本川地区社会福祉協議会 会長 中田道夫

### ～ 災害に備えて～

#### 本川地区防災訓練

12月10日(日)、本川地区自主防災会連合会などの主催により、約400人が参加し、中消防署、中区役所、日赤、中央警察署、中消防団などのご協力により、防災訓練を実施しました。  
本川地区では、本川小学校が生活避難場所として指定されています。このため、校内には、毛布、アルファ化米などの非常食、ラジオなど非常時の資器材が入った防災倉庫も設置されています。



災害が発生した時には、こういった物資を利用し、地域で生活避難場所を運営して行く必要があります。防災訓練を行うに当たっては、事前の準備も重要です。役員は、何度か集まり、生活避難場所を運営するときの役割の確認や、段ボールトイレの作成など入念に打ち合わせを行い、本番を迎えました。



当日、参加者は朝9時に、小学校の体育館に集合し、段ボールを使ったベッドや簡易トイレの作成、心肺蘇生などの訓練、その後は外に出て、消火訓練や濃煙体験、非常食の炊き出しなどを行いました。炊き出しも食糧確保のための重要な訓練項目です。

地震、洪水、津波などの災害はいつ発生するかもしれません。災害による被害を最小限にするためには、日頃から、災害に対する準備が必要です。

一人ひとりが日頃から防災に関心を持ち、訓練に参加するなど、いざというときの備えを行ってください。

#### 餅つき

また、当日は本川小学校PTAの皆さんによる餅つきも行われ、多くの子どもたちが参加し、地域の交流の場となりました。最近では目にするのが少なくなった杵と臼でつく餅つきを、子ども達は体験する良い機会となりました。



今年は9月に防災訓練を行うことにしております。いざという時に備え、是非皆さんも訓練に参加しましょう。

## 安全・安心なまちづくり

### 防犯パトロール



本川地区では、地域安全推進員の皆さんが、月に1回、本川地区を3つのブロックに分け、おそろいの緑のベストに帽子、手には赤の誘導灯をもって、地域内の巡回パトロールを行っています。

「地域の安全」は、日常の生活における気配りから始まります。

地域みんなの力で、本川の安全を守り、安心して暮らせるまちにしていきたいと思います。

### 「子ども安全の日」見守り活動

広島市では、毎月22日を「子ども安全の日」と定め、見守り活動が行われています。

11月22日（水）、12年前、安芸区で発生した大変残念で痛ましい事件の発生を受け、本川小学校では、教育委員会、区役所、地域、PTAなどが参加して登校時の見守りを行いました。その後、体育館にて安全見守り集会が行われ、十日市交番の方のお話を聞き、児童の皆さんと地域の方々と、自分にできる防犯の仕方を考えるなど、意識を高める集会となりました。



本川地区では、毎月第2月曜日に青少協や地域の方々が登校時の見守り活動を実施しています。

また、PTAでは毎週、保護者による見守りあいさつ運動が続けられています。そこでは、11月25日（土）、「防犯・交通ボランティア交流会」にて広島中央交通安全協会より配布された「横断旗」が活用されています。

これからも、子どもたちが安心して暮らせるまちづくりのため、地域全体で子どもたちを見守っていきましょう。



### 男女共同参画による防災地域づくり講座



12月1日（金）、本川地区女性連合会が主催し、男女共同参画の視点を取り入れた防災意識を向上し、地域の防災対策の充実に取り組むきっかけとするため、避難所運営についてのワークショップを開催しました。

当日は、女性会、自主防災会、民生委員、PTAなどから23名が参加しました。

参加者の皆さんの中には、避難所生活について初めて具体的に考えた方も多かったことでしょうか。想像以上に大変で多くの問題が起こることが考えられます。

それらの問題を解決していくためには、

日頃から、防災・減災活動に女性の目線を取り入れ、積極的に女性が参画することが重要であることを学ぶ良い機会となりました。



## 地域の伝統行事

秋から、年末年始にかけ、本川地区では様々な伝統行事が行われています。

伝統行事は、一度途絶えたと中々復活することはできません。長年伝わってきた地域の伝統行事を知り、参加し、次の世代へ伝えていきましょう。

### 恵美須神社秋祭り

榎町にある恵美須神社は、「十日恵美須」ともいわれ、その創建は古く、毛利輝元公の広島城築城当時に遡ると伝えられています。

この恵美須神社では、毎年、11月の10日に近い金、土曜日、秋祭りが行われています。

今年も、神社付近は通行止めとなり、夜には福引や食べ物屋などが出店し、子どもからお年寄りの方まで多くの方で賑わいました。

また、11日（土）には、近隣の企業の方々に担がれた神輿が、榎町、塚町、小網町、土橋町、十日市町一丁目を練り歩き、神社に奉納されました。



### 亥の子祭り



「亥の子祭り」は、旧暦10月（現在の11月頃）の最初の亥の日に行われる商売繁盛、子孫繁栄、家内安全を祈り、「いーのこいーのこ いーのこもーち ついて はんじょうせえ はんじょうせえ（亥の子 亥の子 亥の子餅ついて 繁盛せえ繁盛せえ）」という掛け声で、亥の子餅をつきながら、町内をまわるお祭です。

本川地区の各町内会で、11月初旬から中旬にかけて実施されています。

榎町一区町内会では、11月18日（土）に、子ども約40名を含む約80名が参加して亥の子祭りが行われました。参加した子どもたちには、お菓子などが振舞われ、町には明るい声が鳴り響きました。

### とんど祭り

しめ縄などの正月飾りを「とんど」の火で燃やしてお焚き上げをし、その炎で暖まりながら、無病息災や豊作を願う伝統行事で正月の風物詩です。

毎年、本川地区では、榎町公園、空鞆公園の2か所で行われています。

1月14日（日）、それぞれの公園では、朝早くから町内会役員の方々が集まり、竹などを使い、とんどを組み立てていきました。



榎町公園では朝から、空鞆公園では昼から、それぞれとんど祭りが始まりました。

神事後、火入れが行われ、しめ縄などの正月飾りや習字などが入ったとんどは、みんなが新しい年の幸福を願う中、高く炎を上げ燃えていきました。

榎町公園ではうどんが、空鞆公園では焼きもち入りの豚汁が振舞われ、参加者は、とんどの火にあたりながら、伝統行事を楽しみました。

